

# 校長、質問攻めにあう

令和5年6月13日  
第8号

五年生が校長室へインタビューに来ました。国語の学習のようです。いくつか質問された内容を紹介します。なお（ ）内は、私の心の中です。

**Q1** いつも夢を持つことの大切さを話されますが、どうしたら夢が叶うのかということについてアドバイスを聞きにきました。

（おお、すばらしい質問だ。これまでの集会での話をよく聞いてくれている。大谷翔平になりましたことにとらわれずに話の核となる部分を聞いてくれた。これは、私の思いを改めて子供たちに届けるチャンスだ。ありがとう！）

「夢と言っているのが希望でも願いでも何でもいいのです。なりたい自分をしっかり頭の中に思い描けば、行動が変わってかなりの確率で、その夢や希望や願いが叶うと思っています。だからとにかく、なりたい自分ややりたいことをはっきりさせることです。」 ※というようなことを言いました。

**Q2** いつも夢を持つことの大切さを話されますが、どうして夢を持つことが大切なのですか？

（むうう、第一問と聞き方は異なるが、同じ答えになってしまっじゃないか。私は小五の子ども達に試されているのか。思わず「さっきと同じだね」言いそうになったじゃないか。なんとかが「似ているね」と言い換えたが。しかし、彼らにとっては違うことを聞いているのかもしれない。いや、そうに違いない。誠実に答えなくては。）

「何も考えずに大人になることはないと思うのです。ぼんやりとでも、こんな人になりたいなとか、あんな仕事がしたいなとか、考えると思うんです。私は小中学校の時はなりたいたいものがあつたら、いろいろ調べていました。今の教師という仕事はその時の夢ではないけど、いろいろな将来を思い描いて調べたので、さまざまなことを知ることができたと思っています。なりたいたいものになることだけではなく、そんな経験も大事じゃないかなと思っています。」 ※というようなことを言いました。

（ふう、うまく答えられたらどうか？ わかってくれたかな？ とはいえ、小中学校の時の私はこの子たちみたいに大人を相手にはつきり質問できるようなしっかりした子どもじゃなかったんですけれどね。それは黙っておきましょう。）



**Q3** 校長先生はいつもどんな仕事をしているのですか？

（出た！その質問。校内にいないことも多いし、あんまり仕事していないように見えているかもしれないね。朝のあいさつや集会の時や校内をウロウロするときぐらいが、子どもたちとの関わりがあるときだからなあ。）

「皆さんの担任の先生や学年の先生方は、主に学級のことや授業を通して皆さんと関わってますよね。そういう先生たちは皆さんに勉強やその他生活上の様々な大切なことを教えたり、アドバイスしたり、見守ったりしていると思います。私は、そんな西南小の先生たち全員に、西南小はこんな子供たちを育てましょうという大きな目標を示します。そのために大事にしたいことも伝えます。先生たちは、そのことをもとにして皆さんと関わっていると思います。また、先生たちが仕事をしやすいように仕事のやり方を改善することもありますし、先生たちの困っていることや悩んでいることを聞いたり、逆に先生たちから子どもたちのためにこんなことをやりたいですという提案を聞くこともあります。また、学校の外では、会議や勉強会に参加して、学校同士が協力してよりよい教育ができるように、他の校長先生たちをはじめいろいろな方々と話し合ったり、大事なことを教えてもらったりしています。そういう仕事をしています。」 ※というようなことを言っていました。

**Q4** どうして校長先生になったのですか？

（やはりそれも聞いてきましたか。インタビューとはいえ、面接のようになってきたなあ。小五の面接官は無邪気に聞いてきますねえ。ちょっと緊張もしてきたなあ。）

「日々皆さんが生き生きとして活動し、先生たちやおうちの方と皆さんの成長を喜び合える学校を作りたいからです。」 ※言いたかったのですが、言えたかどうか今心配です。

紹介したのは四つですが、いろいろな質問がありました。大人になれば様々なことが複雑になり、子どもたちに伝えたことが全てではないと思いますし、今回私が答えた内容がベストと言えようなものではないとも思います。しかし、このインタビューで子どもたちと対峙して感じたことは、複雑で一つではない答えから、どんどん余計なものが削ぎ取られていき、ピュアな部分だけが残ったということです。五年生のインタビューのおかげで、私の頭が整理されたことは間違いありません。五年生の皆さん、ありがとうございました。とても楽しい時間でした。・・・あと一クラス来るんですよ。緊張は続きます。

**お世話になりました!** 10日(土)の引き渡し訓練はお休みにもかかわらず多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。ご協力のおかげで大きな混乱もなく訓練が実施できました。今後も子どもの命を守るために取り組んでまいります。